

ネイチャーセンターだより

11月のみどころ

【11月上旬】



コミミズク

多くの渡り鳥が渡来します。ヒロードキンクロ、ホオジロガモ、クロガモなどの海ガモ類や、ヒシクイ、コクガンなどのガン類が風蓮湖やその周辺で羽を休めます。また、コミミズクやハイイロチュウヒなど冬の猛禽類が飛来しはじめます。

【11月中旬】

11月上旬から中旬にかけて、オオハクチョウの飛来数がピークになります。風蓮湖全体では6000～7000羽になることもあります。



オオハクチョウ

【11月下旬】

冬の小鳥、キレンジャク、ハギマシコ、アトリが飛来します。タンチョウは冬の給餌場（鶴居村、阿寒町など）へ向けて移動をはじめます。

おすすめスポット

草原にハギマシコなど冬の小鳥がやってきます。



オオワシが飛来しはじめます。オジロワシも数が増えます。

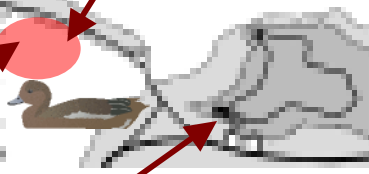
水辺にはオオハクチョウが渡来します。

オオアカゲラなどのキツキ類がよく見られます。

春国岱



淡水ガモが多数浮かんでいます。



春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。お気軽にお声かけください。

トピックス

風蓮湖とヒシクイ

秋になると、越冬のため日本にヒシクイというガンの仲間が渡ってきます。夏にロシア極東などで繁殖していたヒシクイの一部は、道東を通じて本州へ渡ります。風蓮湖は渡りのルートの中にあるため、たくさんのヒシクイが羽を休めるために訪れます。



ヒシクイの群れ

風蓮湖に飛来したヒシクイたちは、まだ緑の残る牧草地や収穫後のデントコーン畑、風蓮湖岸などに舞い降りてエサを食べます。数十羽の群れが牧草地に立つ姿は見ものです。食事を終えたヒシクイたちは風蓮湖に移動し、安全な場所で休息します。エサ場や安心できる場所が残る風蓮湖周辺には 1000 羽を超えるヒシクイが飛来します。

風蓮湖周辺では比較的簡単に出会うことの出来るヒシクイですが、全国的に見ると、たいへん希少な種です。池沼の干拓による生息地の破壊や狩猟による捕獲などが原因となり、個体数が減少してしまいました。今では、天然記念物や国のレッドデータブックの絶滅危惧Ⅱ類に指定され、保護が進められています。

多くのヒシクイが利用する風蓮湖周辺の環境は、とても貴重なものといえるでしょう。

春国岱クイズ

風蓮湖にたくさんのオオハクチョウが渡ってきています。オオハクチョウは、秋から冬にかけて、ロシア極東部などから日本へ渡ってきます。彼らはなぜ渡ってくるのでしょうか？

ヒント：冬って寒いよね～



- A 旅をしたくなるから
B エサがとれなくなるから

答えは次号に掲載します。

(先月号の答え…A)

いきもの図鑑



英名 Coal Tit 学名 *Parus ater*

ヒガラ

(シジュウカラ科)

一年中観察することができる留鳥です。全長十〜十三㎝程度と小さめです。頭頂に冠羽がありモヒカンのように見えます。針葉樹のある林で、昆虫やクモ、草木の種など様々なものを食べて暮らします。秋冬の間、シジュウカラなどと混群をつくり、他種とも同じ行動をすることもあります。

レポート

「マンガのキャラを作ろう！」

9月11日、春国岱ネイチャーセンター周辺に生息する植物を題材にして、漫画のキャラクターを考えるイベント「マンガのキャラを作ろう！」を開催しました。

最初に、野外で実際に観察をしながら、講師の宮野（松下）和江先生から、植物の特徴を楽しいトピックをまじえて説明していただきました。その後、観察した植物の情報をもとにイメージを膨らませ、キャラクターを考え、色鉛筆画に仕上げました。参加者の皆さんは、慣れない作業に悪戦苦闘をしていましたが、ユーモアあふれるすばらしい作品を描きあげていました。



イベントの様子

NEWS

自然学習林への階段を修理しました！

10月9日、自然学習林の入り口にある階段をリニューアルしました。市の職員の方たちが、修理に使う木材の加工から、ペンキ塗り、組み立てまで、全ての工程を行って修理をしました。

自然学習林内の散策路は、今年度になって、大きく改良されています。急な坂で歩きづらかった場所には階段が付けられ、ぬかるんでいた場所には木で橋がかけられました。新しく整備された自然学習林で是非自然観察をお楽しみください。



新しくなった自然学習林入り口の階段

ねむろトコロジスト ワンコインガイド始めました！

10月9日、ボランティアガイド「ねむろトコロジストの会」による春国岱のガイドが始まりました。「ねむろトコロジストの会」は、根室市が市民自然ガイド育成のため、根室市民を対象に開催した全6回の講習会を受講した10名によって立ち上げられました。活動日は下記の通りです。春国岱を散策される際に、ぜひご利用ください。

- ◆日時：毎週土曜日 10時～12時
- ◆受付場所：春国岱ネイチャーセンター(当日受付)
- ◆料金：一人500円(ガイドの交通費として)
(ガイドの都合がどうしてもつかない場合は臨時でお休みする場合があります。ご了承下さい。)



ガイドの様子

行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
10 / 23 (日) 16:00 ~ 17:00	フィールド講座① 「春国岱の地形と地質を探る」 10月24日より七山太博士らによって行われる春国岱地質調査に先駆け春国岱が形成された謎に、七山博士が長年の研究と経験から迫ります。	無料	10/22(土)までに春国岱ネイチャーセンターまでご連絡ください。 (先着 20名) ※集合：春国岱ネイチャーセンター
11 / 3 (木) 10:00 ~ 15:00	ネイチャーセンター祭り ツリークライミング 10:00 ~ 11:30 (午前の部) 13:30 ~ 14:30 (午後の部) おが粉アート/2階 10:00 ~ 11:30 (時間内は、随時、ご参加いただけます。) 紙しばい上演/1階 (開始前に1階へお集まりください。) 12:40 ~ 12:55 (1回目) 13:05 ~ 13:20 (2回目) 鳥の巣箱作成 10:00 ~ 12:00 (巣箱の組み立てと設置)	100円	申込み不要 ※開催時間中はいつでもご利用いただけます。 ※集合：春国岱ネイチャーセンター
いつでも	ほんもの探しゲーム ネイチャーセンターの展示コーナーでかくされた本物を探すゲームに挑戦。	無料	申込み不要

ボランティア



春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ・スルクと個人参加のフィールド・ボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然の調査や観察会の開催したり、自主イベントの企画・実施をしたりなどの活動を行っています。

いつからでも、経験がなくてもはじめられます。お気軽にお問合せください。

◆対象：高校生以上

◆会費・保険料（年間）：

フィールド・ボランティア 300円

ボランティアグループ・スルク 1500円

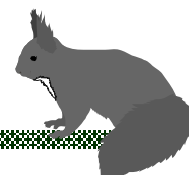
◆お問合せ：電話 0153-25-3047

マナーを守って…



美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 野外での禁煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から先は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆11月の休館日：2、4、9、16、24、25、30日

◆11月の開館時間：9:00~16:30

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます(要 事前申込)

2011年10月発行